学校番号	411

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	社会と情報Ｎｅｘｔ　（数研出版）						
副教材等	30 時間でマスターOffice2013（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常の使用におけるモラル･マナー･セキュリティについて理解を深め、安全で正しい使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、演習等を通して考え、自分の考えを論理的かつ効果的に伝える方法を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち､身のまわり情の問題を解決するために､情報機器や情と報通信ネットワークを活用し､情報社会切に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート、発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート、発表 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会と情報モラル	○人・社会とのかかわり ・情報社会が人に及ぼす影響 ・ネットトラブル(1)－炎上・無責任な書きこみ－ ・ネットトラブル(2)－迷惑メール・出会い－ ・ネット詐欺 ・インターネットでの情報検索	○	○		○	a: 情報社会が人に及ぼす影響や問題点について関心をもっている。 b: ネット上のトラブルの原因や対策について考え、その結果を適切に表現している。 c: ネット上の詐欺や架空請求の被害にあわないように、適切にインターネットを利用することができる。 d: サーチエンジンのしくみや情報を絞りこむための方法について理解している。	プリント 授業観察 課題提出
	コンピュータの活用	○ハードウェア・ソフトウェア ・パソコン基本操作 ・ファイル操作 ・タイピング ・ワープロソフトウェアの利用、ビジネス文書作成	○	○	○		a: コンピュータに関心をもち、積極的に活用しようとしている。タイピング練習に積極的に取り組む。 b:ビジネス文書作成の上で、伝えるべき情報を適切に表現している。 c: ファイルやフォルダを適切に扱うことができる。 d: ワープロソフトの基本的な仕組みや特性について理解している。	授業観察 課題提出 実技ﾃｽﾄ

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	情報社会と情報モラル	○法とのかかわり ・知的財産権 ・著作権 ・個人情報	○	○		○	a: 個人情報やプライバシーを保護することについて関心をもち、個人の責任を果たそうとしている。 b: 著作権などの知的財産権を保護することの必要性について考え、判断し、その結果を適切に表現している。 c: 著作権などの知的財産権を侵害せずに、情報機器を活用することができる。 d: 個人情報やプライバシーの保護に関連する法律の意義や内容について理解している。	プリント 授業観察 課題提出
	情報社会における問題解決	○情報社会における問題解決 ・表計算ソフトウェアの利用 (1) 統計・データ分析 ・表計算ソフトウェアの利用 (2) アルゴリズムとプログラミング	○	○		○	a: 表計算ソフトウェアを利用して、具体的な問題解決の手順を学ぼうとしている。 b: 問題解決のプロセスについて考え、その結果を適切に表現している。 c: 問題解決を行うために、表計算ソフトウェアを効果的に活用することができる。 d: 問題解決を行うためのプロセスを理解している。	授業観察 課題提出 実技ﾃｽﾄ
	ディジタル情報と情報の活用	○情報のディジタル表現 ディジタル表現-動画-	○	○	○		a: コンピュータを活用して、多様な形態の情報を統合することやわかりやすく表現することに関心をもち、積極的に工夫している。 b: 情報を発信する際に、著作権や個人情報の保護について考え、適切に情報を扱っている。 c: 多様な形態の情報を統合化し、伝えたい情報をわかりやすく表現することができる。 d: 情報を発信するときの注意点について理解している。	授業観察 課題提出

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	ディジタル情報と情報の活用	○情報の表現と伝達 ・プレゼンテーションの流れ ・プレゼンテーションの注意点 ・プレゼンテーションソフトウェアの利用	○	○		○	a: プレゼンテーションの実施や資料作成に関心をもち、積極的にとり組もうとしている。 b: プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションを考えている。 c: プレゼンテーションソフトウェアを活用するための技能を身に付けている。 d: プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識を身に付けている。	授業観察 課題提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。